

令和8年度

編入学生募集要項 入学案内



未来の技術を創る人を育てる

To foster people who will create the technology for the future

Web 出願受付期間	令和7年6月23日(月)～令和7年7月2日(水)
出願書類受付期間	令和7年6月30日(月)～令和7年7月3日(木)
選 抜 期 日	令和7年7月19日(土)
合 格 発 表 日	令和7年7月29日(火)

独立行政法人 国立高等専門学校機構

鹿児島工業高等専門学校

National Institute of Technology(KOSEN), Kagoshima College

〒899-5193 鹿児島県霧島市隼人町真孝 1460-1

電話 0995-42-9014 学生課教務係

FAX 0995-43-2584 学 生 課

目 次

教育基本方針	1
--------------	---

学生募集要項

1. 募集学科・募集人員・編入学年	3
2. 出願資格	3
3. 志望学科	3
4. 出願手続	3
5. 出願書類送付先	4
6. 選抜方法	4
7. 学力検査・口頭試問・面接の日時・場所	5
8. 学力検査科目の出題範囲	5
9. 口頭試問の出題範囲等	5
10. 合格者の発表	6
11. 入学確約書の提出	6
12. 入学手続	6
13. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して	6
14. 検定料について	7
15. 個人情報の取り扱いについて	7
16. その他	8
17. Web 出願について	9

入学案内

1. 創立	10
2. 目的	10
3. 修業年限及び称号	10
4. 学科と入学定員	10
5. 教育課程（履修可能単位数）	10
6. 卒業後の進路	10
7. 学寮	12
8. 入学時に要する諸経費	12
9. 奨学金制度	13
10. 学修学支援新制度による授業料等減免制度・給付奨学金制度	13

※出願書類用紙

○所見書（様式1）

教育基本方針

I. 目的

本校は、教育基本法（昭和 22 年法律第 25 号）の精神にのっとり、学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）および独立行政法人国立高等専門学校機構法（平成 15 年法律第 113 号）に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な実践的かつ専門的な知識および技術を有する人材を育成することを目的とする。

II. 教育理念

未来の技術を創る人材を育てる

III. 本校のミッション

1. 国際的に通用する創造性豊かで人格が優れた技術者を養成する。
2. 開発型の教育・研究に重きをおき、社会的・経済的価値あるものを創出していく。
3. 地域の産業、文化さらには生活を支えていく地域に根差した高専とする。

IV. 育成する人材像

1. 人類の未来と自然との共存をデザインする技術者
2. グローバルに活躍する技術者
3. 創造力豊かな開発型技術者
4. 相手の立場に立ってものを考える技術者

V. 各学科の育成する人材像（各学科における人材養成に関する目的その他の教育上の目的）

1. 機械工学科

機械工学科では、「ものづくりの根幹を支える機械工学分野全般の知識を応用し、最先端の高度な技術に対応できる技術者」および「創造性に優れ人格的に立派な国際的に通用する技術者」の育成を目的とする。また、開発型の教育・研究、また先端企業や地域との共同（教育、活動）をとおして、様々な問題を解決できる能力を身につけ、社会的・経済的に価値ある「ものづくり」ができるようになるための実践教育を行う。

2. 電気電子工学科

電気電子工学科では、「電気電子・情報通信技術の基礎を着実に修得し、ハードウェアとソフトウェアの融合技術を含めた多様な分野において、新たな社会的価値創出に対応できる技術者」および「創造性に優れ人格的に立派な国際的に通用する技術者」の育成を目的とする。また、開発型の教育・研究、また先端企業や地域との共同（教育、活動）をとおして、様々な問題を解決できる能力を身につけ、社会的・経済的に価値ある「ものづくり」ができるようになるための実践教育を行う。

3. 電子制御工学科

電子制御工学科では、「多岐にわたる電子制御工学分野の知識を応用し、最先端の高度な技術に

対応できる技術者」および「創造性に優れ人格的に立派な国際的に通用する技術者」の育成を目的とする。また、開発型の教育・研究、また先端企業や地域との共同（教育、活動）をとおして、様々な問題を解決できる能力を身につけ、社会的・経済的に価値ある「ものづくり」ができるようになるための実践教育を行う。

4. 情報工学科

情報工学科では、「ソフトウェアやハードウェアはもちろん、それらに係わる情報セキュリティに対応できる技術者」および「創造性に優れ人格的に立派な国際的に通用する技術者」の育成を目的としている。さらに、開発型の教育・研究、また先端企業や地域との共同（教育、活動）をとおして、様々な問題を解決できる能力を身につけ、社会的・経済的に価値ある「ものづくり」ができるようになるための実践教育を行っている。

5. 都市環境デザイン工学科

都市環境デザイン工学科では、「建設技術を通して様々な社会問題に対応できる技術者」および「創造性に優れ人格的に立派な国際的に通用する技術者」の育成を目的としている。さらに、開発型の教育・研究、また先端企業や地域との共同（教育、活動）をとおして、様々な問題を解決できる能力を身につけ、社会的・経済的に価値ある「ものづくり」ができるようになるための実践教育を行っている。

VI. アドミッションポリシー

本校では、「未来の技術を創る人材を育てる」ことを教育理念に掲げ、ディプロマ・ポリシー（卒業認定の方針）に定める人材を育成するため、次のような人を求めています。

1. 求める学生像

- ① 「ものづくり」に興味があり、基礎学力が身についている人
- ② グローバルな視点を持ち、国際社会で活躍したい人
- ③ 多様な考え方を理解し、仲間と協働して活動できる人
- ④ 自主的・継続的に学習や研究に取り組み、自己の向上を目指したい人
- ⑤ 技術者として社会の発展に貢献したいという夢のある人

2. 入学者選抜の基本方針

【編入学】

工業高等学校又は高等学校の工業に関する学科を卒業した者および卒業見込みの者が対象で、学力検査、口頭試問・面接の結果、在籍（又は出身）学校長から提出された調査書、推薦書の内容をもとに総合的に判定する。

令和8年度鹿児島工業高等専門学校編入学生募集要項

1. 募集学科・募集人員・編入学年

募集学科	募集人員	編入学年
機械工学科	若干名	第4学年
電気電子工学科		
電子制御工学科		
情報工学科		
都市環境デザイン工学科		

2. 出願資格

工業高等学校又は高等学校の工業に関する学科を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者

3. 志望学科

志望学科は高等学校における所属科と同系統科とします。

ただし、電子制御工学科については、機械系、電気・電子系、情報系科を同系統科とします。

情報工学科については、電気・電子系、情報系科を同系統科とします。

4. 出願手続

(1) Web 出願受付…令和7年6月23日（月）午前9時から令和7年7月2日（水）午後4時まで

(2) 出願書類受付

- ① 期 間…令和7年6月30日（月）から令和7年7月3日（木）まで
郵送の場合も令和7年7月3日（木）までに必着です。
- ② 時 間…午前9時から午後4時まで
- ③ 場 所…鹿児島工業高等専門学校 学生課教務係

(3) 志願者による Web 出願

志願者は、Web 出願サイトへの入力及び検定料（16,500円）の納入を行い、Web 出願サイトから印刷した「写真票」及び出願書類を本校へ提出してください。Web 出願サイトへ顔写真データをアップロードしていない場合は、(5)に基づき、写真を貼り付けしたうえで、提出してください。

(4) 出願書類の提出

志願者は、(5)出願書類に基づき、出願書類受付期間に一括して提出してください。

手続きが全て完了すると、申込完了メールが届きますので、そのメール受信をもって出願手続が完了となります。出願手続を完了していないと受験できませんので注意してください。なお、令和7年7月4日（金）を過ぎても申込完了メールが届かない場合は、学生課教務係まで問い合

わせてください。

(5) 出願書類

志願者は、次の書類をとりまとめ、提出してください。

①	写 真 票	Web 出願手続き完了後に発行される「写真票・受験票」を印刷し、「写真票」のみ切り取ったもの。顔写真をアップロードしていない場合は、出願前3ヶ月以内に撮影した上半身・脱帽・正面向きの写真（縦5cm×横4cm。カラー可）を貼付してください。写真の裏面には必ず氏名を記入してください。
②	卒業見込証明書 又は 卒業証明書	高等学校所定の用紙により、出身学校長が作成したもの
③	調 査 書	高等学校所定の用紙により、出身学校長が作成したもの。令和8年3月卒業見込みの者の評定欄第3学年については、履修中の科目に○を記入してください。
④	所見書（注）	本校所定の用紙（様式1）により、出身学校長が作成したもの

（注）④の所見書の様式は本校ホームページ（<https://www.kagoshima-ct.ac.jp/>）の「受験生の方へ」→「募集要項・入試書類」のページよりダウンロードして使用してください。

(6) 出願に関する注意事項

- ① 出願書類に不備がある場合には、受け付けません。
- ② 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。
- ④ 受理した出願書類は、返還しません。
- ⑤ 検定料の返還については、7ページの「14. 検定料について」をご覧ください。

5. 出願書類送付先

出願書類郵送の際は必ず書留郵便とし、封筒表面に「編入学願書在中」と朱書きしてください。

宛 先 〒899-5193 鹿児島県霧島市隼人町真孝 1460-1

鹿児島工業高等専門学校 学生課教務係

6. 選抜方法

学力検査・口頭試問・面接の結果及び調査書、推薦書の内容を総合して行います。

検査項目は、数学・英語・口頭試問・面接で、配点は各100点、計400点満点とします。

7. 学力検査・口頭試問・面接の日時・場所

期 日	検査項目	時 間	検 査 場
7月19日 (土)	9:00までに集合してください。		鹿児島工業 高等専門学校
	数 学	9:20~10:40 (80分)	
	英 語	11:00~11:50 (50分)	
	口頭試問 ・面 接	13:00~ (一人当たり 30分程度)	

8. 学力検査科目の出題範囲

	科 目	出 題 範 囲
筆記試験	数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ
	英 語	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ

9. 口頭試問の出題範囲等

	学 科	出題範囲等 (以下の科目に関する基本的な事項)		
口 頭 試 問	機械工学科	機械と設計、機械に働く力と仕事、材料の強さ、機械材料、機械工作 (鋳造、塑性加工、機械加工、溶接)		
	電気電子工学科	電気回路 (キルヒホッフの法則、交流回路におけるインピーダンス、電圧・電流のベクトル (フェーザー)) 電磁気学 (電荷と電界・電位、電流磁界、電磁力、電磁誘導)		
	電子制御工学科	電気系	直流回路: 電圧・電流・抵抗の各種法則、電力 交流回路: 電圧・電流の各種法則、R・L・Cの働き、電力 電磁気学: 電流と磁界、電磁力、電磁誘導、インダクタンス、静電力、電界、電位、静電容量	
		機械系	機械設計: 機械に働く力、材料の強さ、機械材料 機械工作: 鋳造、塑性加工、機械加工、溶接	
	情報工学科	論理回路、コンピュータの仕組み、ソフトウェアの基礎、情報セキュリティ技術、C言語プログラミング		
	都市環境 デザイン工学科	構造力学 (単純ばり、トラス、断面の性質)、土質力学 (土の基本的性質)、水理学 (水の物理的性質、静水圧)、材料学 (コンクリート、鋼)		

10. 合格者の発表

合格者の発表は、令和7年7月29日（火）午前11時に本校学生課前掲示板に掲示するとともに、合格者本人と受験者の在学（又は出身）高等学校長には文書で通知します。また、本校ホームページ（<https://www.kagoshima-ct.ac.jp/>）に合格者の受験番号を掲載します。掲載期間は1週間です。

なお、電話等による合否の照会には一切応じません。

11. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、令和7年8月25日（月）までに本校所定の「入学確約書」を鹿児島工業高等専門学校学生課教務係へ提出してください。なお、所定の期日までに提出しない場合は、入学する意思がないものとして合格を取り消すことがあります。

12. 入学手続

令和8年3月初旬に、合格者宛にて別途通知します。

13. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

鹿児島工業高等専門学校では、「障がいを理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障がいを理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び、「独立行政法人国立高等専門学校機構における障がいを理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障がい等による支援ニーズのある学生に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障がい等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに学生課教務係までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、以下に示す相談の時期を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、生徒、生徒の保護者及び、在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障がいのある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」によって示されている、1）障がい者手帳の種別・等級・区分認定、2）適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3）標準化された心理検査等の結果、4）専門家の所見、5）中学校、特別支援学校中等部等入学前の支援状況に関する資料、6）本人が自らの障がいの状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※根拠資料に関しては提出の要不要に関しても相談窓口までご相談ください。ご提出いただく根拠

資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

(お願い)

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後、または入学後に合理的配慮に関して初めて申請なされると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

(1) 相談の時期

令和7年6月23日(月)16時まで

(2) 相談窓口(連絡先)

鹿児島工業高等専門学校 学生課教務係

電話 0995-42-9014 FAX 0995-43-2584 MAIL kyomu@kagoshima-ct.ac.jp

14. 検定料について

◎願書受付後

出願書類及び検定料は返還しません。ただし、下記に該当した場合は、払込済の検定料を返還しますが、別途手数料を志願者にてご負担いただくこととなりますのでご注意ください。

- (1) 検定料を振り込んだが出願しなかった(出願書類を提出しなかった、又は出願したが受理されなかった)場合
- (2) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

※ 願書受付後の返還請求方法

学生課教務係に連絡してください。

15. 個人情報の取り扱いについて

入学志願者から提出された調査書等に記載されている情報や、Web出願システムで入力した情報に加え、選抜に用いた試験成績・評価といった入学選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用しますので、ご了承ください。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入寮後の教育・指導
- (3) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (4) 奨学金申請の審査
- (5) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

16. その他

不明な点の問い合わせ

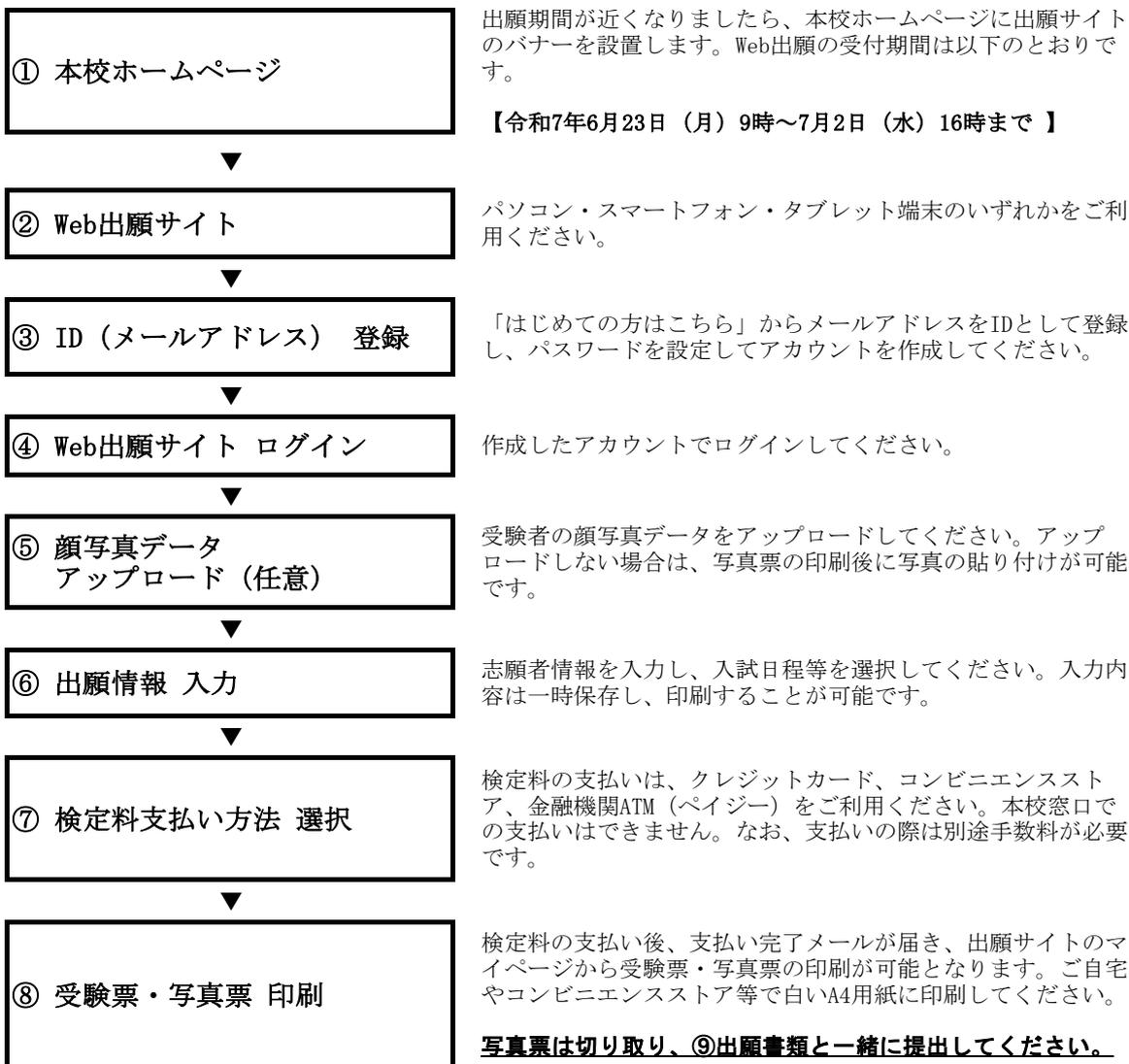
学生課教務係にお問い合わせください。

学生課教務係 電話 0995-42-9014 MAIL kyomu@kagoshima-ct.ac.jp

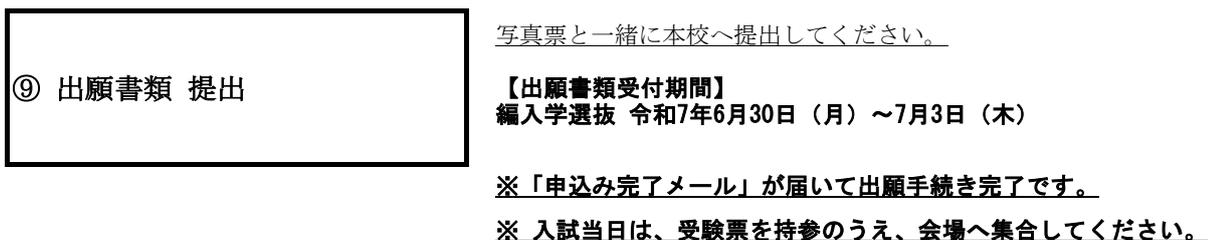
17.Web出願について

パソコン、スマートフォン、タブレット端末から出願サイトにアクセスし、志願者情報の入力・検定料の支払い方法の選択等をWeb上で行った後、写真票・調査書等の必要書類の到着をもって出願完了となります。志願者による手続きの流れは以下のとおりです。

【志願者による手続きの流れ】



※Web出願サイトでの操作は以上となります。



【Web出願システムに関するお問い合わせ先】
サポートセンター（出願サイト右下にある「お問い合わせ先」から電話番号を確認してください）

入学案内

1. 創立

昭和 38 年 4 月 1 日

2. 目的

「深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成する。」ことを目的としています。

3. 修業年限及び称号

修業年限は 5 年（編入学者は 2 年）。卒業した者は、「準学士」と称することができます。

4. 学科と入学定員

機械工学科、電気電子工学科、電子制御工学科、情報工学科、都市環境デザイン工学科 各 40 名

5. 教育課程（履修可能単位数）

年次・教科 学科	4 年（単位）		5 年（単位）	
	一般科目	専門科目	一般科目	専門科目
機械工学科	12	29	12	23
電気電子工学科	12	29	12	27
電子制御工学科	12	29	12	25
情報工学科	12	28	12	29
都市環境デザイン工学科	12	27	12	23

6. 卒業後の進路

(1) 就職状況

本校では昭和 43 年 3 月に第 1 回卒業生を送り出して以来、9,400 人以上の卒業生を送り出しております。卒業生の実力は高く評価され、産業界、官公庁の各方面から毎年多くの求人があり、就職希望者はほぼ全員就職が決定しております。

令和 7 年 3 月卒業生の学科別の就職先は、次のとおりです。

機械工学科	ANA エンジンテクニクス株式会社、株式会社 A・R・P、JASM 株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、日本たばこ産業株式会社、株式会社 IHI プラント、旭化成株式会社、オークマ株式会社、カンセツ株式会社、京セラ株式会社国分工場、京セラコミュニケーションシステム株式会社、株式会社ジェイテック、株式会社タマディック、ベータ・ベンチャーキャピタル株式会社、トーテックアメニティ株式会社、東レ株式会社、トヨタ自動車九州株式会社、南国殖産株式会社、株式会社日立産業制御ソリューションズ、平田機工株式会社、富士電機株式会社、本田技研工業株式会社、三菱電機エンジニアリング株式会社、ユーエムアイ株式会社
-------	--

電気電子工学科	Daigas グループ、JFE プラントエンジ株式会社、株式会社 MBM、株式会社 USEN、アイリスオーヤマ株式会社、アプライドマテリアルズジャパン株式会社、九州電力株式会社、京セラ株式会社鹿児島国分工場、京セラ株式会社鹿児島川内工場、株式会社ザイマックスグループ、全農サイロ株式会社、株式会社東京エネシス、東京ガスネットワーク株式会社、東京電力ホールディングス株式会社、株式会社トヨタプロダクションエンジニアリング、西日本高速道路エンジニアリング九州株式会社、株式会社日立ハイシステム 21、株式会社日立ハイテク、株式会社日立ビルシステム、本田技研工業株式会社、三菱重工業株式会社、三菱電機ソフトウェア株式会社、三菱電機エンジニアリング株式会社、三菱電機株式会社名古屋製作所、株式会社ユピテル
電子制御工学科	Daigas グループ、DMG 森精機株式会社、株式会社 JAL エンジニアリング、旭化成株式会社、キャノン株式会社、京セラ株式会社鹿児島国分工場、セイコーエプソン株式会社、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社、株式会社田中貴金属グループ、東海旅客鉄道株式会社、独立行政法人国立印刷局、株式会社トヨタ車体研究所、西日本高速道路ファシリティーズ株式会社、パナソニックコネクタ株式会社、富士電機株式会社、本田技研工業株式会社、株式会社牧野フライス製作所、株式会社ユピテル
情報工学科	株式会社 F I X E R、NEC ネットエスアイ株式会社、株式会社 RKKCS、株式会社 U-NEXT HOLDINGS、株式会社 アイ・エス・ビー、株式会社 ヴィッツ、株式会社 エヌ・ティ・ティ エムイー、九電産業株式会社、京セラコミュニケーションシステム株式会社、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社、株式会社 大気社、株式会社 デザインネットワーク、トーテックアメニティ株式会社、株式会社 ニコン、西日本旅客鉄道株式会社、パナソニック EW エンジニアリング株式会社、株式会社 半導体エネルギー研究所、株式会社 日立ハイシステム 21、ヤマハモーターエンジニアリング株式会社、株式会社 キセキ九州、株式会社 ユピテル
都市環境 デザイン工学科	株式会社 CTI グランドプランニング、Daigas グループ、JFE シビル株式会社、JR 九州 コンサルタント株式会社、NTT インフラネット株式会社、インフラテック株式会社、エム・エムブリッジ株式会社、株式会社 大阪防水建設社、鹿児島県庁、国土交通省九州地方整備局、五洋建設株式会社、大成建設株式会社、東京水道株式会社、株式会社 ナカノフドー建設、西日本高速道路エンジニアリング九州株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、日鉄パイプライン&エンジニアリング株式会社、日本製鉄株式会社、日本都市技術株式会社、日本ヒューム株式会社、パソコン技術管理株式会社、ピーエス・コンストラクション株式会社、日置市役所、福岡国際空港株式会社、みらい建設工業株式会社

(2) 進学（高等専門学校「専攻科」進学及び大学編入学）

専攻科は高専の5年間の教育課程の上に、より高度な専門的知識と技術を教授することを目的とした2年の課程です。専攻科修了と同時に学位（学士）が取得できます。

本校では「生産現場などで問題解決ができ、かつ最先端の技術にも精通した創造性豊かな開発型技術者の育成」を目的とし、平成12年4月に次の三専攻を設置しました。

- ・機械工学科と電子制御工学科を基盤とした「機械・電子システム工学専攻」 入学定員 8名
- ・電気電子工学科と情報工学科を基盤とした「電気情報システム工学専攻」 入学定員 8名
- ・都市環境デザイン工学科を基盤とした「建設工学専攻」 入学定員 4名

また、理工系大学のほとんどが3年次への編入学の門戸を広く開いております。

令和7年3月卒業生の進学先は、次のとおりです。

鹿児島高専専攻科 (うち1名九州大学との連携教育プログラム生含)	25名	大分大学	1名
鹿児島大学	10名	九州工業大学	3名
鹿屋体育大学	1名	熊本大学	9名
豊橋技術科学大学	6名	東海大学	1名
長岡技術科学大学	7名	東京農工大学	1名
宇都宮大学	1名	福井大学	1名
合 計			66名

7. 学 寮

本校の学寮は、学生の相互敬愛により学校生活の向上を図るとともに、規律ある共同生活を通して人間形成を助長し本校の教育目的の達成に資することを目的としています。入寮希望者は選考の上、入寮を許可されます。

8. 入学時に要する諸経費

おおよそ次のとおりです。(令和8年度予定額)

入学料	84,600 円	
授業料	117,300 円	(前学期分)
教科書代	約 35,000 円	
学寮費 (※)	寄宿料	700~800 円 (月額)
	寮費等	59,500 円 (前学期分 (寮管理費、空調費ほか))
	食費	約 33,000 円 (月額 1日 (3食) : 1,198円)
その他	学生会費	7,000 円 (年額)
	後援会費	24,000 円 (年額)
	後援会入会費	25,000 円 (入学時のみ)
	同窓会費	15,000 円 (入学時のみ)

(※) 学寮費は寮生のみ該当します。

9. 奨学制度

学習意欲のある学生に対し、学費や生活費を給付または貸与することにより、経済的負担を軽減するための制度です。日本学生支援機構や地方公共団体、民間団体などさまざまな企業、団体が支援を行っています。日本学生支援機構の奨学金については、年に2回本校ホームページや学内掲示版を通じてお知らせします。その他奨学金については、都度本校ホームページでご案内いたします。

10. 修学支援新制度による授業料等減免制度・給付奨学金制度

本校は高等教育の修学支援新制度の対象校となっており、家計基準・学業基準を満たす学生は、授業料等減免や給付奨学金の支援を受けることができます。

本制度は多子世帯の学生に対し支援を拡充しています。

家計や学業に関する基準については、日本学生支援機構ホームページをご確認ください。

(様式1)

令和8年度鹿児島工業高等専門学校編入学志願者

所 見 書

受験番号	※
------	---

令和 年 月 日

鹿児島工業高等専門学校長 殿

学校名

校長名

印

ふりがな				男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日生
氏 名						
出身科				志望学科	工学科	
学業成績 順位	1 年		2 年			
	人中 位		人中 位			
所 見						

(注) 本人の学業・人物・生活態度・課外活動等について記入して下さい。